

うちの学校

紹介しまあ!

その15
北淡中学校



北淡中学校は、播磨灘を見下ろす淡路市浅野神田の高台にあります。平成16年、北淡町立北淡東中学校と北淡西中学校が統合して誕生しました。夏には夕日の美しさが心を癒し、冬には刺すような潮風が忍耐力を育む。この相反する二つの顔を持つ自然が、人情味あふれる生徒たちを育てました。

本年度、生徒たちが掲げるスローガンは、「ほんまもん」(協心・友情・学び)です。「ほんまもん」とは、誰から見ても変わらず「かつこい」と思える、芯の強さと謙虚さを持った人のことを言います。生徒たちは自分の中に「ほんまもん」を求め、日々前進しています。



トイレ掃除



平和集会

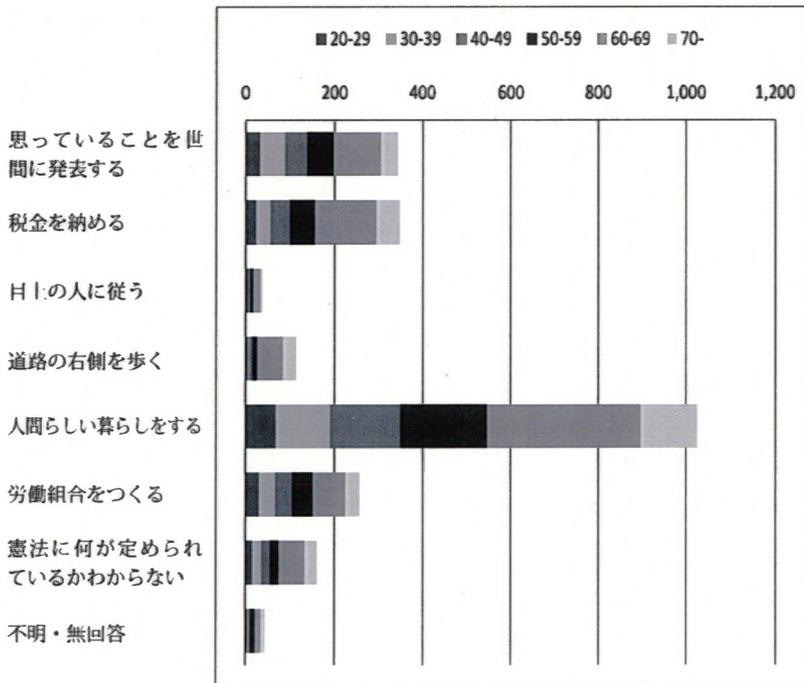
そんな生徒たちが、熱心に取り組むものの一つが掃除です。腕をまくり、膝をかかめ、1年生が真剣な表情で便器をゴシゴシ磨いています。汚れが落ちない所は手袋をはめ、直接きれいにします。雑巾で床を拭く生徒、掃除機を使う生徒、そんな姿を見ていると、掃除は心を磨く修行のようなものだと思ってしまうかもしれません。きれいな教室、美しい校舎は、生徒たちの心の表れだと言えるでしょう。そんな生徒たちを、トイレの神様は優しく見守ってくれているかもしれません。

また北淡中学校では、毎年8月6日を全校登校日とし、戦争で亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、平和集会を

行っています。校長先生の合図で黙とうし、3年生が、これまで積み重ねてきた平和学習の成果を発表します。本年度は、被爆地ナガサキで本の資料に触れた体験を発表しました。集会の最後は、3年生代表の平和アピールです。平和な世界を築き、守つていく決意を全校生の前で力強く誓いました。夏休みのこの日は、全校生が平和について考える日です。この伝統は、統合前から受け継がれています。

これからも「ほんまもん」を目指し、北淡中学校の生徒たちは更に飛躍していきます。

【問7】 あなたは、憲法により義務ではなく、「国民の権利」と定められているのはどれだと思いますか



淡路市の「人権意識調査」から

シリーズ⑪

テーマ

日本国憲法と人権

もしかしたら、教えるはずの大人が憲法について十分に教えられていないのかもしれない。憲法が我々の生活においてどのような意味を持つのか。知識ではなく、理解することで「権利」について改めて考えることができるかもしれません。

日本国憲法は昭和20年に制定され、国民の権利についての記載が数多くあります。調査の結果、思った以上に「権利」と「義務」が理解できていないような結果でした。学校で教えられたはずの憲法、なぜこのようなことになるのでしょうか？